

技術の名称

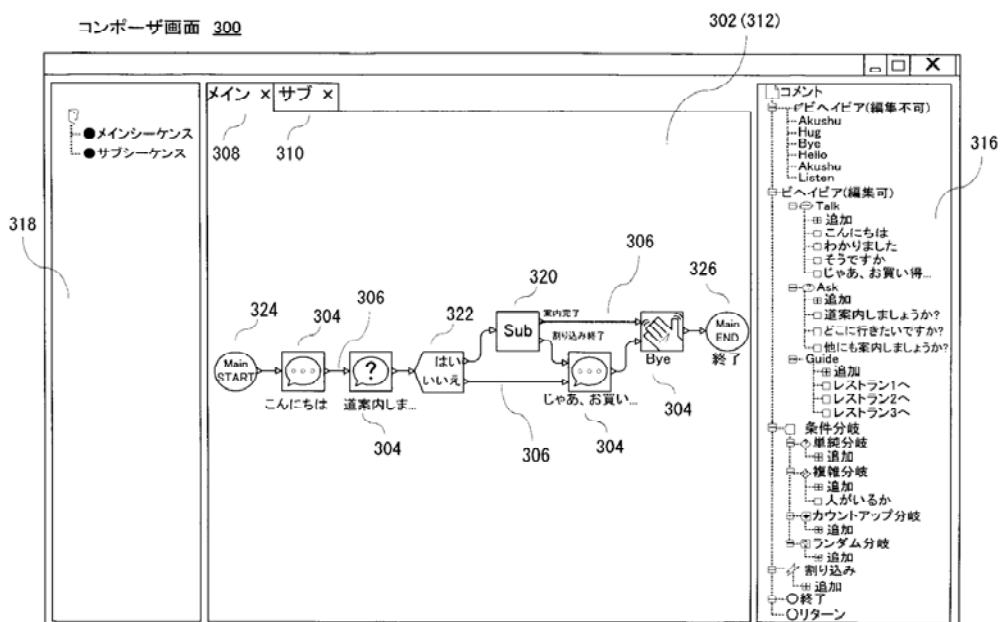
ロボット開発支援装置

適用分野

ロボットにロボット自身が行う基本的な動作、行動を植えつけるための開発支援装置

- 目的
ロボット、特に人間とのコミュニケーションを主体とする動作を行うコミュニケーションロボットにロボット自身が行う基本的なコミュニケーション動作や行動を可視的な手段を用いて植えつけてコミュニケーションロボットを完成する。
- 効果
本発明によれば、コミュニケーション動作、行動を可視的な手段を用いてロボットに植えつけることができるので、熟練を要することなく、容易にコミュニケーションロボットの開発を行うことができる。
- 技術概要
コミュニケーションロボットが行うコミュニケーション動作、行動を上位のメインシーケンスと下位のサブシーケンスとに階層化し、上位のメインシーケンス324と、下位のサブシーケンス320とを表示画面302に個別に可視表示すると共に、それぞれの表示画面302に行動モジュールを示すビヘイビアアイコン304を表示してそのアイコン間を連結して行動モジュールの実行順序を示す遷移線306に基づいてメインシーケンスとサブシーケンスとを個々に作成する。

特記事項、 図など



- 主たる提供特許
特許等の名称 : コミュニケーションロボット開発支援装置
登録番号 :
出願番号 : 特願2009-143871
公開番号 :
出願日 : 平成21年6月17日

- 実施実績 有、 ○無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
Tel 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp